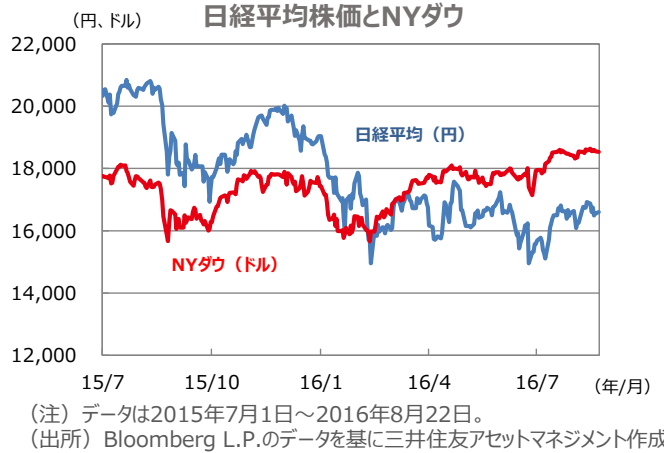


今日のトピック 日本株式市場（2016年8月）

今秋以降は業績改善を織り込む展開へ

**ポイント1 8月はもみあい
米国株に対し出遅れ**

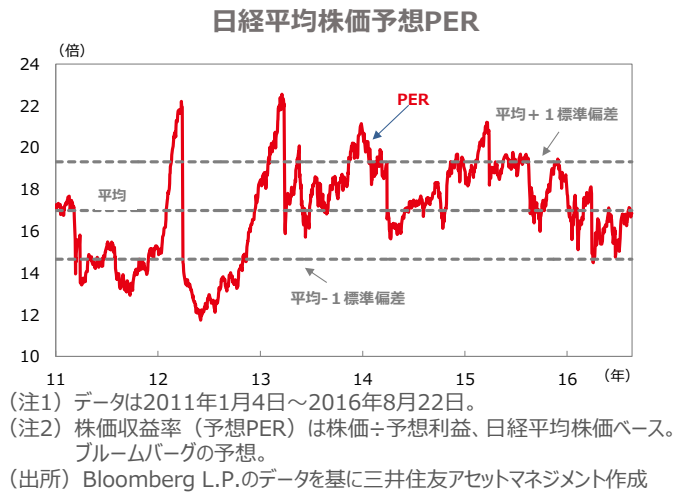
■ 8月の世界の株式市場は、米国株式市場で、主要株式指数が揃って史上最高値を更新するなど、総じて堅調に推移しています。こうした中、日本株式市場は、日経平均株価が16,000円台で一進一退の動きにとどまっています。日銀の上場投資信託（ETF）買い期待が下値を支える一方、円相場が一時1ドル＝100円を突破するなど、円高が株価の重石となっています。



**ポイント2 企業業績は下方修正
バリュエーションは割高でない**

■ 2016年度の企業業績見通しは、円高の影響で下方修正され、会社計画の経常利益が▲1.9%と、小幅の減益となっています。これに対して、弊社は一段の円高進行がない前提で+3.1%の増益を予想しています。

■ 一方、日経平均株価の株価収益率（予想PER、ブルームバーグ集計）は、過去の平均並みとなっています。PERで見た日本株式のバリュエーションは割高水準ではありません。



今後の展開 今秋以降は業績改善を織り込む展開へ

■ 米国株式市場の最高値更新の背景には、米国の利上げ見込みが後退する中、米景気が順調な回復ぶりを見せていることがあります。さらに、最近の原油価格の回復もグローバルな株式市場の追い風となりそうです。こうした環境下、日本株式については、

日銀の追加金融緩和や補正予算の前倒し執行も支援材料となりそうです。当面は円高圧力から上値が抑えられるものの、先行きは米国景気回復と円高の一服による企業業績の改善から出遅れている日本株式の挽回が期待されます。

**ここもチェック! 2016年8月22日 米国の株式市場（2016年8月）
2016年8月 3日 未来への投資を実現する経済対策**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。